



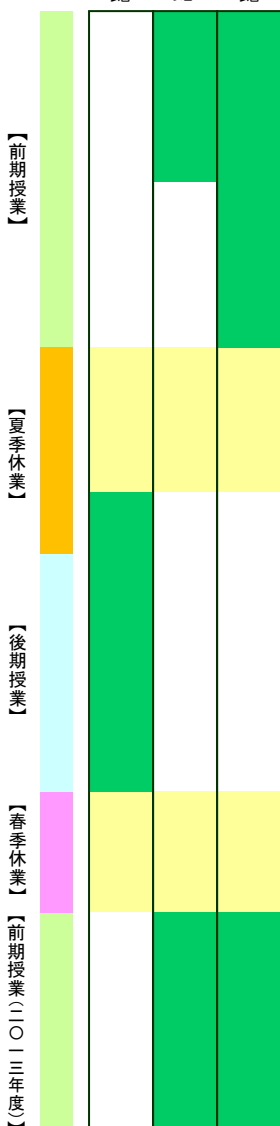
# 附属図書館(本館)改修工事の 施工予定

お知らせしてまいりました附属図書館(本館)改修工事の予定表です。ほぼ1年をとおしての工事となる予定です。この工事に伴って図書館は下のように、部分的な開館(一時全面閉館)となります。とくに卒業論文作成年度の皆さんは注意してください。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどをよろしくお願いいたします。



仮設  
図書  
館  
新  
館  
旧  
館

■ 開館  
■ 全面閉館



## 5月末まで

- ・準備作業を実施しながら通常開館

## 6月~8月10日

- ・閉館/新館(奥側の建物)
- ・開館/旧館のみ

仮説図書館へ移す予定の資料のみ、旧館で利用できます。

## 8月11日~9月中旬まで

- ・全面閉館……仮設図書館へ引越し

## 9月中旬~平成25年2月末

- ・仮設図書館開館(大学館2F)

開館時間 8:30-17:00 (授業期間中)

9:00-17:00 (休業期間中)

※夜間・土日・祝日は休館

利用頻度の高い資料を中心に、図書約2万5千冊、雑誌・新聞等を用意します。スペースの関係上、閲覧室はほとんどありません。

## 平成25年3月~4月上旬

- ・全面閉館……改装後の図書館へ引越し

## 平成25年4月上旬

- ・図書館リニューアルオープン

注/工事や作業状況により予定がずれることがあります。

# CONTENTS

- 附属図書館(本館)改修工事の施工予定
- 3月の開館予定
- お薦め図書
- 鈴木晶「ラロイト以後」
- つぎやきライム
- 第24回/エゴサイクル —ポロポロの茶封筒—
- ライムのぼんやりトーク

## 3月の開館予定

日	月	火	水	木	金	土
3 March				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ 9:00-17:00 ■ 休館

●現在、長期貸出期間中です。2月2日(木)~3月27日(火)の間に長期貸出された図書の返却期限は、

## 4月10日(火)

となります(※)。延長はできませんので、この期限内に遅れないように返却するようお願いいたします。

※但し、卒業生の方は3月31日(土)までの貸出となります。



# お薦め図書

このコーナーは毎回様々な人が選んだお薦めの本を紹介するコーナーです。  
今回は人文社会科学部 1 年生からの推薦図書です。

## フロイト以後

鈴木晶 【NDC:081/Ko19-2/1094 本館 1F 文庫/新書】

「無意識」という言葉を知らない人は、おそらくいないでしょう。普段、みなさんが生活しているなかでも「無意識のうち……」と口にすることや耳にすることも多いと思います。20 世紀、そして現在において、学問的な用語であったその「無意識」なる言葉をわれわれ一般の人びとの誰しものあいだに広まっているのは、あるひとりの学者の達成した業績のひとつであるといっても、過言ではないでしょう。そしてその人物こそ、精神分析学の祖とも呼ばれるフロイト (Sigmund Freud, 1856 - 1939) にほかなりません。

みなさんは、心を氷山にたとえた図をご覧になったことはないでしょうか？ つまり、自分の心のなかで自分が意識できるのはほんの一部であり、のこりの大半は海に浮かぶ氷山が海面下に大量の体積を隠し持っているがごとく意識できない部分だというわけです (氷山の一角とはよく言ったものです)。

フロイトはそういった「無意識」について、いうなれば考

えに考えまくった人物です。彼はそうすることで、わたしたちの心の働きを理解しようとした人物でした。たとえば、われわれが眠っているときに見る夢も無意識の働きが密接に関係してきますし、ヒステリー (言葉はみなさんもよく聞くところだと思います) という病についても、無意識という観点から、医学的/心理学的に解明しようと努めたのです。

フロイトの思想はやがて広まり、さまざま後継者を生みました。そして、その思想は心理学分野においてのみならず、とくに現在の芸術やエンタテインメント——普段からわたしたちがたのしんでいるような文学、絵画、映画、漫画など——において多大な影響を与えています。直接、精神分析学に興味がないかたでも、フロイトに関するちょっとした知識を得れば、より文学や映画を深く楽しむことができるはずですよ。

(MT)

## つぶやきライム

～図書館職員のメッセージリレー～

### 第 24 回 エコサイクル —ぼろぼろの茶封筒たち—

全国の大学図書館等から高速自動車道や鉄道を旅してくる本達は、島根大学の図書館に所蔵してない資料です。その本達を皆様に届けするのが ILL サービスの一つ現物貸借です。

到着して来た茶封筒を見るとびっくりするやら感心するやら。ぼろぼろでガムテープがいっぱい貼りつけてあります。どのガムテープを剥がしたらいいの分からないほどです。時には宅配便の用紙が 3~4 枚重ね貼りつけた跡があり、剥がして見ると我が島根大学名が出てきたりします。本自体が入っているビニールの袋も皺くちゃで何度となく使用されたものが多いです。その袋に貼ってあるテープも同じく数回使用されているものです。それらのテープを丁寧に剥がして、返送時には到着した時と同じように剥がしたテープを貼りつけて使用します。それでも道中が心配なものですから、要所に新しいガムテープで補強をしたりはします。借りた本が貸出中の時は、その袋達は事務室で横並びになり待機です。返送作業をしている時、その並びを見るとこんな会話が聞こえてくるような気がします。

袋 : No.567 「またご一緒になりましね～」

袋 : No.572 「いや～ 久しぶりですな。九州は暖かくていいでしょう。  
東北は今年、降雪が多く大変ですよ」

袋 : No.567 「ご苦労さんです。その様子では大分お役目をされているようですね」

袋 : No.572 「お隣さん、あんた新入りさんだね。見りゃお姿が綺麗な。  
こちとら島根の前は東京よ。  
ま～全国を旅しているとそのうち俺たちのようになりませう」

そんな事を想像したりして本を丁寧に装備して送り出します。借りた本を無事に返す時はホッとします。少し減ったかなと思えば、また、数冊の本が到着します。

長い間、繰り返し使用されてきた茶封筒。これは ILL サービスの暗黙の仕来りなりなのでしょうか？ ほとんど小綺麗なものはありません。目新しいのはガムテープばかりなり。

(M.Y)



みいなちゃん

まだまだだと思っていたけれど、後期の授業も終わって、今年度もおしまいかあ。



けんさくくん

まだまだ寒い日が続いてるけどねえ……。



ライム博士

そうだね。雪が降ったりなんだのと、なかなか天候も安定しないしね。しかし、「冬来たりなば春遠からじ」というように、じきに暖かくもなって、新しい年度が始まるよ。



みいなちゃん

そうですね。去年はほんとうにいろいろなことがあった 1 年でしたけど、次年度はどんな年になるんでしょうね。いい年になればいいけれど。



ライム博士

それは一方で自分自身が変化しなければならないということだね。図書館もこれから 1 年余りかけて、全面的な改修を進めてゆく。よりよい施設になるように、積極的に変化してゆくつもりだよ。